

「談話会の開催記録(第1回～第80回)」

【経過】

- ・1989年5月 第1回を鐘華会中研支部の行事の一環として発足
世話人: 中研支部長 川戸史郎氏
第5回までは“お話会”または“お話の会”と称す
第6回以降は“談話会”の名称が定着
- ・会場は中央研究所(途中から神戸研究所と改称)
2001年4月 第29回より会場を芦屋荘に変更(神戸研究所閉鎖のため)
- ・2005年3月中研支部廃止 その後は本社支部の行事として継続
参照: 川戸『鐘華』第51号6頁、同誌52号10頁
- ・2005年6月開催の第40回より世話人を伊藤良一が引き継ぐ
参照: 『鐘華』第54頁10頁
- ・2012年7月開催の第61回より長町知昭氏が共同世話人として参加
- ・2016年1月開催の第72回より長町知昭氏に代わって米澤和弥氏が共同世話人として参加

【開催記録】

回数	開催日	講師(敬称略)	演 題	参加者数
第1回	1989/5/26	古閑 立夫	・私の日々	-
		中央研究所齊藤副所長: 最近の研究開発動向について		
		金武 克己	・味のお話	
第2回	1989/11/25	浅井 清一	・私の日々	-
		小島 武(医薬品事業部医療器技術室長): 鐘化製品医療器を中心として		
第3回	1990/5/24	浅井 清一	・私の日々	-
		中野 弘司(加工技術研究所研究企画室長): 太陽電池		
		古閑 立夫	・仏像を訪ねて	

鐘華会「談話会」の歴史

回数	開催日	講師(敬称略)	演 題	参加者数
第4回	?	?	?	-
第5回	1991/8/8	金武 克己	・私の日々	-
		石坂 洋	・ベルギーのお話	
		三浦 雄次(カネカフード社長):パン、ケーキに見られる最近の動向 (エコールドノバ・食品研究室見学)		
第6回	1991/12/16	植村 譲治	・私の日々	-
		滝根 正道(環境安全衛生部部長東京駐在):プラスチックと環境問題		
		浅井 清一	・中国タクラマカンの旅	
第7回	1992/7/10	川戸 史郎	・LCセンター加入のJASS、ないすらいふの会について	-
		法務部藤本部長:中国を旅して		
		長倉 国雄	・銅刻等趣味について	
第8回	1992/11/8	淀川製鋼所迎賓館、俵美術館、芦屋市立美術博物館		-
第9回	1993/5/14	奈良歴史教室、志賀直哉旧居、奈良市写真美術館、新薬師寺		-
第10回	1993/9/16	神原部長(KL事業部):最近のカネカロン製品、新繊維について		-
		浅井 清一	・中国西安に旅して	
		古閑 立夫	・ポルトガル、北スペインに旅して	
第11回	1993/11/17	六甲アイランド開発(株)専務取締役白木寿郎:六甲アイランド開発と展開		-
		小磯記念美術館学芸員:小磯芸術等について (小磯美術館鑑賞)		
第12回	1994/4/1	神戸カメラミュージアムの方:カメラの変遷について		-
		さくら銀行本部貨幣資料室調査部山氏:貨幣にまつわるお話		
		神戸華僑歴史館の方:神戸と華僑の係り		
第13回	1994/6/16	松村副所長または佐藤総務部長:研究所組織変更について		-
		三宅 ヒデ男	・祇園祭(NHK VHS)	
		浅井 清一	・南イタリアに旅して	
第14回	1994/11/16	三宅 ヒデ男	・大山崎案内(NHK VHS)	-
		大西 道一	・パノラマ写真の迷信	
		川戸 史郎	・こけしのお話	
第15回	1995/11/28	滝根 正道	・ダイオキシンの微量にともなう苦勞	-
		川戸 史郎	・聖徳太子と法隆寺	
		三宅 ヒデ男	・法隆寺、夢殿、法隆寺の魅力(VHS)	

鐘華会「談話会」の歴史

回数	開催日	講師(敬称略)	演 題	参加者数
第16回	1996/4/20	大山崎ふるさとセンター歴史資料館、アサヒビール大山崎山荘美術館 宝積寺、妙喜庵、離宮八幡宮		-
第17回	1996/11/15	伊丹市立美術館・柿衛文庫、小西酒造直営長寿庵(会食) それぞれで先方のお話を拝聴		-
第18回	1997/5/11	(大宇陀の里)大願寺(薬草料理)、森野旧薬草園・薬の館(薬問屋旧細川家住宅)、内原・かざぐるま鑑賞		-
第19回	1997/7/4	カネカ保険センター高田俊雄部長:最近の生命保険事業の動向、カネカ年金基金などについて 浅日 清一 ・イタリア紀行		-
第20回	1997/8/1	草津市立水生植物公園(水の森)、滋賀県立琵琶湖博物館		-
第21回	1997/11/6	山田 恭二	・上海、蘇州漫談	-
		鎌田 太一	・中国三峡をを旅して	-
第22回	1998/3/30	古閑 立夫	・クロアチア、ヘルツェゴビナに旅して	-
		山田 恭二	・旅情雑話	-
第23回	1998/6/27	明石海峡大橋・橋の科学館、舞子海上プロムナード、北淡町震災記念館		-
第24回	?	?	?	-
第25回	1999/2/25	九鬼 一男	・風を創り電気を創る	-
		浅日 清一	・中国黄山写生の旅	-
第26回	1999/7/1	伊藤 良一	・福井先生の記念切手	-
		浅日 清一	・マルタ島、チュニジアの旅	-
第27回	2000/5/11	柳下 恒夫	・台湾あれこれ	-
		浅日 清一	・エジプトの旅	-
第28回	2000/10/12	大西 道一	・パノラマ繋ぎ写真の最新情報	-
		川戸 史郎	・聖徳太子とその時代の仏像	-
第29回	2001/4/3	林 靖之	・素人の考古学	-
		浅日 清一	・ドイツの古都を訪ねて	-
第30回	2001/5/17	大和葛城山ヤマツツジ群生地		-
第31回	2001/10/23	古橋 三郎	・私の定年後(少年野球との関わり)	-
		浅日 清一	・トルコに旅して	-

鐘華会「談話会」の歴史

回数	開催日	講師(敬称略)	演 題	参加者数
第32回	2002/1/29	伊藤 良一	・切手面白話	-
		大西 道一	・趣味や研究活動の中から	
第33回	2002/4/2	京都府立植物園、陶板名画の庭		-
第34回	2003/4/.24	(2002.12.27開催予定のところ浅日氏病気のため延期してこの日開催)		-
		小島 武	・馬を語る	
		浅日 清一	・モロッコの旅	
第35回	2003/8/14	宝官 進一郎	・写真の楽しみ	-
		大西 道一	・宇宙は衝突の歴史	
第36回	2003/12/12	半場 友也	・大和路を歩く	-
		研究開発本部エレクトロニクスRDセンター長 太和田善久:・薄膜シリコン太陽電池の量産化への20年の歩みとその展開		
第37回	2004/3/25	カネカ常務理事 大橋武久:	・当社研究技術の展開について	-
		川戸 史郎	・古刹の花、紅葉とカメラ、その他思いつくままに	
第38回	2004/8/16	舘 糾 相談役	・日本化学産業のこれから	-
		大西 道一	・日没する夕陽の形	
第39回	2004/11/5	カネカ企業年金基金常務理事 原稻積:	・年金に関する法律の一部改定について	-
		五十川 昌孝	・最近のアメリカで感じたこと	
第40回	2005/6/13	川戸 史郎	・徒然なるままに思うこと	12名
		伊藤 良一	・知的財産権を巡る内外の話題	
第41回	2005/10/3	九鬼 一夫	・九鬼水軍の栄光と残照	20名
		宮本 真樹	・科学技術史雑感	
第42回	2006/2/2	滝根 正道	・刻字に親しんで	18名
		藤井 健志	・CoQ10サプリメントの有用性	
第43回	2006/6/29	島 雄	・仏像あれこれ	18名
		吉田 登	・水銀利用の始まりについて	
第44回	2006/10/3	大西 道一	・高砂の200年前の古地図	16名
		松岡 昭	・「茶の本」から100年	
第45回	2007/1/25	中崎 正也	・私の漢詩	16名
		中村 稔	・作陶技法こぼれ話	

鐘華会「談話会」の歴史

回数	開催日	講師(敬称略)	演 題	参加者数
第46回	2007/5/9	中村 稔	・作陶技法こぼれ話-2	18名
		柳下 恒夫	・フェルメールの絵 全点踏破の旅	
第47回	2007/10/2	斎藤 一郎	・第4の人生を楽しく過ごす	19名
		大西 道一	・幻のヘリコプター	
第48回	2008/1/31	島 雄	・もと社長さん6人に聞きました	19名
		宮本 真樹	・科学技術史あれこれ	
第49回	2008/5/15	伊藤 義麿	・江戸期の商人イノベーター達	15名
		松岡 昭	・お互いの「つながり」がもう1つの力に	
第50回	2008/10/3	米田 耕司	・北欧の旅と4つの国	21名
		居上 健次	・私と英語	
第51回	2009/2/10	大西 道一	・伊能忠敬の象限儀も目盛	20名
		太和田 善久	・カネカの新事業創出とRDマネジメント	
第52回	2009/7/27	松尾 哲男	・特許調査から	17名
		富岡 正美	・考古学に古代の歴史を	
第53回	2009/11/2	伊藤 良一	・フランス小旅行	21名
		古閑 立夫	・私の趣味の変遷	
第54回	2010/1/29	大石 哲夫	・日本の環境対策について	21名
		木下 嘉清	・私のドイツ旅行～ドイツ科学史を中心に	
第55回	2010/5/24	島崎 正美	・チョウと自然の保護	22名
		長谷川 貞次	・油、しぼり、しぼられ40年	
第56回	2010/10/1	山岸 清太郎	・シニアの社会参加ー実践から得た課題	21名
		松岡 昭	・アメリカの小学校教育	
第57回	2011/1/26	山下 俊章	・日常生活に生きているビジネスの法則	18名
		宝官 進一郎	・悪夢の青春・学徒動員	
第58回	2011/6/14	平川 完	・ぼけないで今からどう輝いて生きるか思案中です	22名
		加藤 正見	・絵を楽しんで	
第59回	2011/10/6	長町 智昭	・古代日本に対する浅学のイメージでお知恵拝借	17名
		大西 道一	・図学と共に70年	
第60回	2012/1/16	吉田 登	・天皇機関説はなぜ簡単に葬られたのか	16名
		木下 嘉清	・ドイツの脱原発を考える	

鐘華会「談話会」の歴史

回数	開催日	講師(敬称略)	演 題	参加者数
第61回	2012/7/10	島 雄	・「説明と表現」－文章を書くということ－	15名
		吉田 登	・「天皇機関説はなぜ簡単に葬られたか(本論)」	
第62回	2012/11/1	高橋 明男	・「私の技術士活動について」	15名
		川戸 史郎	・「老・成人病など私の体験あれこれ」	
第63回	2013/1/24	伊藤 良一	・「風変わりな郵便切手(当世切手事情)」	17名
		大西 道一	・「ダルマ太陽とグリーンフラッシュ」	
第64回	2013/6/27	吉野 浩樹	・満洲事変と石橋湛山	14名
		石原 晋一郎	・外から見た日本(戦国の時代)	
第65回	2013/9/20	加藤 正見	・海外向け技術輸出にまつわる数々のエピソード	22名
		田中 隆夫	・同上	
第66回	2014/2/10	田中 豊	・野鳥について	16名
		宮本 真樹	・旧約聖書とユダヤ人	
第67回	2014/5/29	岸田 豊	・アメリカの話－あれこれ	30名
		大原 柗三	・カネカロンかつらの開発に従事して	
第68回	2014/9/22	上崎 勇一	・音楽雑談(室内楽を10倍楽しむために)	24名
		汐崎 憲	・オキシ触媒開発の思い出	
第69回	2015/2/10	大西 道一	・図学は最強の学問である	12名
		大原 柗三	・風船爆弾における加工紙的考察	
第70回	2015/7/31	高橋 里美	・地球環境やこれからの産業を支える微生物たちの世界	15名
		木下 嘉清	ドイツ脱原発(その2) 脱原発はうまく行っているのか	
第71回	2015/9/29	長町 知昭	・中世の寺社勢力(無縁所)を垣間見る	11名
		島 雄	・恋するひじりたち	
第72回	2016/1/28 *芦屋市民センターで開催	大西 道一	・古代ローマ帝国の軍用道路と水道橋	10名
		山岸 清太郎	・アマチュア・オーケストラと私	
第73回	2016/6/28 *神戸市勤労会館で開催	山口 美則	・身近にある自然技術とフラクタルな話	20名
		伊藤 義麿	・大阪の恩人、五代友厚と広岡浅子 そして中之島	
第74回	2016/10/7 *神戸市勤労会館で開催	村井 秀實	・朗読 引き揚げ体験記「38度線を越えて」と「あとがき」	19名
		柳下 恒夫	・カネカの海外技術輸出第1号と海外企業進出第1号に参画して	
第75回	2017/2/1 *神戸市勤労会館で開催	太和田 善久	・太陽光発電の今 急増する太陽光発電の落とし穴	16名
		斎藤 一郎	・毎日の生活を楽しむ体験談	

鐘華会「談話会」の歴史

回数	開催日	講師(敬称略)	演 題	参加者数
第76回 <small>*神戸市勤労会館で開催</small>	2017/6/1	吉田 登	・江戸期浪華のイノベーター 町人学者山片蟠桃	14名
		伊藤 良一	・近年の知的財産権をめぐる内外の話題	
第77回 <small>*神戸市勤労会館で開催</small>	2017/10/10	西岡 俊一	・フランス印象派の絵画に触発されて	20名
		山下 俊章	・リタイア生活で楽しめるビジネスの法則	
第78回 <small>*神戸市勤労会館で開催</small>	2018/2/20	津下 和永	・国家プロジェクト(グラフェン研究開発)に参加して	17名
		島 雄	・死にとうなかったひじりたち	
第79回 <small>*神戸市勤労会館で開催</small>	2018/6/5	平川 完	・自称「徘徊老人」としての最近の行状～「100歳人生」(健康寿命)を目指して～	17名
		三浦 雄次	・リタイア後約20年の我が生きざまについて	

は、見学等で外での催し。

2015年3月15日作成
2017年2月20日改訂
2018年2月25日改訂
2018年6月21日改訂

以上文責:伊藤良一

・2018年10月開催の第80回より世話人を伊藤良一氏より津下和永が引き継ぎ、米澤和弥氏との2名体制

第80回 <small>*神戸市勤労会館で開催</small>	2018/10/10	志賀 稔	・自宅での果樹栽培の魅力と楽しみ方	11名
		西岡 俊一	・ナポレオン・ボナパルトと絵画	